

研究に関する情報公開

＜人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針＞に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者※の方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧いただくことができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、研究対象者若しくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には試料・情報を使用いたしませんので、その際は下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。その場合でも、研究対象者の方に不利益が生じることはありません。

＜研究課題名＞
急性 A 型大動脈解離における entry 部位および偽腔状態からみた上行置換術の妥当性
＜研究機関・研究責任者名＞
日本大学医学部附属板橋病院 心臓血管外科 病棟医長 林佑樹
＜研究期間＞
機関の長の初回許可日 ～ 令和 10（西暦 2028）年 4 月 28 日
＜対象となる方＞
西暦 2016 年 4 月 1 日から 2021 年 3 月 31 日の期間に心臓血管外科で急性大動脈解離 Stanford A 型に対して上行置換術を受けた方
＜研究の目的＞
本研究は、急性大動脈解離 A 型に対する上行置換術の安全性と有効性を後ろ向きに評価することを目的としています。特に、術後経過の情報を利用して、大動脈径、死亡率や合併症発生率を解析し、判断に資する知見を得ます。
＜研究の方法＞
本研究では、急性大動脈解離に対して手術を受けた患者さんを対象に、手術後の大動脈の変化や治療成績について調査を行います。診療録（カルテ）、CT 画像、手術記録、検査結果など、通常の診療で得られた情報を用いて解析を行い、新たな検査や治療は行いません。具体的には、手術前後および経過観察中の CT 画像を用いて大動脈径の変化や偽腔の状態を評価し、長期予後や再治療の有無との関連について検討します。収集した情報は、氏名や患者 ID などの個人情報を削除し、研究用番号に置き換えたうえで解析を行います。また、研究結果は学会発表や論文として公表される可能性があります。個人が特定されることはありません。
＜研究に用いる試料・情報の項目＞
① 患者背景：年齢、性別、身長体重、喫煙の有無、既往症、術前心臓超音波、術前合併症、術前 CT（大動脈径、偽腔の状態） ② 手術記録：術式、手術時間、出血量、輸血量、人工心肺情報（体外循環時間、遮断時間、循環停止時間） ③ 術後経過：周術期死亡の有無、術後合併症の有無、挿管時間、ICU 滞在日数、在院日数、術前術後 CT での大動脈径（術前、1 週間、1 年、3 年、5 年）
＜お問い合わせ窓口＞
日本大学医学部附属板橋病院（〒173-8610 東京都板橋区大谷口上町 30-1） 心臓血管外科 医員 鎌田恵太 電話：03-3972-8111

※研究対象者とは、以下に該当する方（死者を含む。）を指します。

①研究に用いられることとなる既存試料・情報を取得された方